ノア・標準

ノア・エアロ

目指したのは純正+αの魅力 穴開け加工不要のイージーエアロ!

エアロを装着するにあたって、まず始めに思い浮かぶことは、「車体側へ穴開けなどの加工を有することもある」という感念。とりわけエントリーユーザーの中には、こうしたことに抵抗を感じ、ひと際シビアな見方をするケースも多く、それが時にエアロの敷居を高くしている要因になることもしばしばだ。

そこで「エアロテックジャパン」が打ち出したのは、一切の加工を不要としたイージーなエアロの提案。"ランドスタイル"にて体現されたそれは、純正ピンとの共締めと両面テープにて完全に固定される画期的な設計。これにより手軽なドレスアップを見事実現しているのだ。

しかしトピックはそれだけにとどまらない。なんと標準用とエアロ用はアプローチの異なるデザインとなっており、すなわちこれはベースグレードに最も適したスタイルを、それぞれベストなカタチでアップデートできるといった提案性も盛り込まれているというワケ。

純正+αの魅力を手に入れる敷居が高くないと知れば、見逃す手はないハズだ。

個々が主張するのではなく、あくまでトータルでのバランスアップ的な役割を果たすランドスタイルのプログラム。エアロメイクの敷居を引き下げた手軽な取り付け方法も、特筆に値するポイントだろう

アイラインの造形は、一度広がったフォルムがエンド部分で急激に収束していくという独特なモノ。ニラミの効いた顔つきが創出されている

標準グレードのデモカーにインストールされたのは、A/X・X777mのダイヤモンドカット×サイドダイヤモンドブラックモデル。ちなみにエアログレードの方は同じくX777mのヤオウブラックモデルを装着

RANDO Style

ⓡエアロテックジャパン

エアログレード

標準グレード

標準グレードとエアログレードで異なった造形アプローチをみせるフロント。取り付けは両面テープでOKという穴開け加工が不要のイージーさも魅力だ。ボトム方向に最大約20mmのボリュームアップが果たせるので、さり気ないローダウンスタイルも楽しめる

標準グレード

エアログレード

リアセクションの見せ方も両車で異なる。標準グレードはキャラクターラインが盛り込まれたデザインコンシャスなスタイルで、これのエアログレードは純正の雰囲気を解消する+α的な位置付けだ。マフラーレス仕様を就結するためのアタッチメントカバーまで付属しているのも心憎い配慮

■対応:ノア・標準/エアロ

SPECIFICATION

- ●フロントハーフスポイラー(未塗装/塗装済) ……¥29,400/¥42,000
- ●リアハーフスポイラー(未塗装/スポイラーのみ塗装済/アタッチメント含む塗装済) ……¥29,400/¥42,000/¥44,100
- ●アイライン(未塗装/塗装済) ……¥10,500/¥13,650
- ●フォグHIDキット(6000K) …¥29,800

ホイール/(標準)A/X・X777m(F&R:19×8.0+45)
(エアロ)A/X・X777m(F:19×8.0+45、R:19×8.0+40)
タイヤ/ル・マンLM703(F&R:225/35R19)